

第31回 全日本壮年ソフトボール大会北海道予選会 兼
第16回 全日本スポーツマスターズソフトボール大会北海道予選会
開催要項

1. 主催 北海道ソフトボール協会
2. 主管 遠紋ソフトボール協会、遠軽ソフトボール協会
3. 後援 遠軽町、遠軽町教育委員会、NPO法人遠軽町体育協会
4. 会期 平成28年7月23日(土)～7月24日(日) 【予備日:7月25日(月)】
5. 会場 遠軽町東町1丁目 えんがるソフトボール球場
6. 参加チーム数 参加チーム数の制限は設けない。
但し、次項 7.参加資格、8.出場資格の条件を満たしたチームに限る。
7. 参加資格 (1) 平成28年度北海道ソフトボール協会に各地区を通して加盟登録したチームであること。
男子は壮年チーム、女子は35歳以上の者で編成されたチームであること。
(2) 所属長が身体、人物共に適当と認めたもの。
(3) 本北海道予選会において優勝又は準優勝した場合は、理由の如何を問わず全国大会に北海道代表として参加でき得るチームであること。優勝チームに選択権を与える。
8. 出場資格 (1) 本大会に出場するチーム及び選手は、所定の予選又は、推薦を経て出場権を得たチーム及び選手に限る。
(2) 選手の編成は、最終予選終了時までに北海道ソフトボール協会に登録した者の中から編成すること。なお、本大会参加申込み以降のメンバー変更は認めない。
(3) チームの編成は、次の通りとする。
監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、選手25名以内。
ただし、監督、コーチ、スコアラーが選手を兼ねる場合は選手登録をしなければならない。
* 通訳1名(外国人選手がいる場合に限る)のベンチ入りを認める。
* スコアラーとしてベンチ入りする場合は、公式記録員の有資格者であること。
* 監督、コーチの中で次の①～③のいずれかの資格を有する者がいること。
監督、コーチが資格を有していない場合においては、チーム内に有資格者(監督代行になり得る者)がいなければならない。
①公認ソフトボールコーチ・ソフトボール上級コーチ
②公認ソフトボール指導員・上級指導員 ③公認準指導員
* 有資格者については、監督会議、受付等で資格証等の提示を求められたときは、すぐに提示できるよう、資格証等を携帯すること。
9. 申込み方法 出場資格を得たチームは、別紙関係用紙に必要事項を明記のうえ、各関係の認印を受け、7月2日(土)までに到着するよう、参加料、保険料を添えて下記宛に申し込むこと。
(1) 〒062-0905 札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1 北海道立総合体育センター内
北海道ソフトボール協会 宛 …… 参加申込書(コピー)のみ 1通
(2) 〒099-0428 紋別郡遠軽町西町3丁目1
大会事務局 向平 弘 宛 …… 参加申込書 1通
TEL 0158-42-6218 携帯 090-1382-4096
(参加料、保険料、プログラム掲載用申込書等は、(2)の大会事務局へ郵送ください。)
10. 参加料 1チーム 25,000 円
11. 保険料 参加申込書に記載の人数に@60円を乗じた金額。(監督等も含め全員です)
12. 競技規則 2016年度オフィシャルソフトボールルールによる。
13. 試合球 公益財団法人日本ソフトボール協会検定ゴム製3号球白色(ナガセケンコー社製)とし、毎試合ごと、各チーム 1 個の持ち寄りとする。
14. 試合方法 トーナメント方式による。
1 回戦～準決勝戦は、90分を過ぎて新しいイニングに入らない。
制限時間経過後同点の場合は、次イニングより、タイブレーカーにより試合を続行する。

但し、タイブレーカーは、2イニングまでとし、なお同点の場合は、抽選により勝敗を決定する。
得点差コールドゲームは採用しない。
決勝戦は、時間制限を設けず、3回15点、4回10点、5回以降7点差以上の差がついた場合は、
コールドゲームとする。
本大会は、サスペンデッドゲームを採用する。

15. 表彰 (1) 優勝チームに、表彰状、優勝旗又は優勝杯を授与する。
(2) 準優勝チーム、3位チームに表彰状を授与する。
(3) 優勝旗又は優勝杯は持ち回りとする。
16. 費用 出場選手の旅費、滞在費はすべて出場チームの負担とする。
17. 組合せ抽選 試合の組み合わせは、7月4日(月)道協会において、主催者立会いのもとに公開代理抽選によつて決定する。
18. 監督会議 7月23日(土) 8時15分より、えんがるソフトボール球場において開催する。
19. 審判記録会議 7月23日(土) 8時30分より、えんがるソフトボール球場において開催する。
20. 開会式 7月23日(土) 9時00分より、えんがるソフトボール球場A球場において開催する。
21. 傷害 大会参加者の行事参加中の傷害事故については、救急の処置を行うとともに、北海道ソフトボール協会が加入する行事参加者傷害保険(死亡・後遺障害450万円、入院日額4,000円、通院日額2,500円)の範囲内で補償を行う。(日数制限有)
保険料については、参加者負担とし、別途徴収する。
加入者は、全員健康保険証を持参すること。
22. その他 (1) 出場チームは必ず監督(引率責任者がいる場合は引率責任者)によって引率され、監督(引率責任者)は、選手の全ての行動に対し責任を負うものとする。
(2) 開会式は監督、コーチ、プレイヤー全員が参加すること。9名以上(試合が成立する人数)の参加ができないチームは、原則として棄権とみなす。
(3) 北海道大会で棄権及び不正選手出場したチームの取扱いについては下記の通りとする
① 棄権チームに対する処置: 当該年度及び次年度の公式試合の出場停止。
② 棄権チームの所属する支部に対する処置: 次年度の同大会の出場資格の喪失。
* 組合せ抽選終了後の出場辞退(チームの変更も含む)も大会期間中の棄権とみなし上記と同様の処置とする。
尚、事故等による理由により棄権する場合は、上記規定は適用しない。又、この決定については、北海道協会派遣理事及び大会競技委員長で行う。
* 全日本大会、東日本大会、北海道・東北大会の権利獲得後の出場辞退についても、同様の取扱いとする。
(4) 雷鳴が、かすかでも聞こえたら、ただちに試合を中断する。
(5) 昼食(弁当)については別紙により斡旋しますが、宿泊については斡旋しません。
(6) チームの宿泊先及びその所在地、電話番号等を大会事務局へ連絡すること。
(7) ベンチに入る人数は、本大会登録人数とする。
(8) その他詳細については、参加チームに直接連絡すると共に、監督会議で定める。
(9) 大会参加申込書は、明確にご記入ください。

* 全国大会日程 *

第31回 壮年大会	9月3日～5日	宮城県・宮崎市
第16回 スポーツマスターズ大会	9月24日～27日	秋田県・由利本荘市

競技上の注意

(大会運営に関する注意事項)

◎ 競技規則

競技規則は、2016年オフィシャルソフトボールルールおよび特別規則による。

◎ 試合

1. 選手の集合時間
 - (1) 試合開始時刻の30分前、または前試合の4回終了時に当該球場に集合すること。
 - (2) 試合開始時刻になっても当該球場にこないチームは、原則として棄権とみなす。
2. 打順表の記入と提出
 - (1) 試合開始予定時刻の30分前、または前試合の4回終了時に、予め配布された打順表(5枚1組)に必要事項を(控え選手も含め全員)を記入し、必ず「ふりがな」を付けて当該球場本部に提出すること。
なお、打順表に記載のない選手は、当該試合に出場できません。
 - (2) 相手チームの打順表は、審判員、記録員が照合確認の後、審判員より受け取ること。
 - (3) 打順表は、最初の試合については、監督会議で配布したものを使用し、その後の試合分については、勝利チームが当該球場の記録席まで取りに来ること。
3. 攻守順の決定
 - (1) 打順表提出のとき、審判員立会いのもとに「コイントス」によって決定する。
「コイン」の表裏の選択は、先着(打順表持参)チームに優先権を与える。
 - (2) フィールドイング終了後に、両チームの監督に先発メンバーの最終確認をする。
4. 競技者席(ベンチ)
 - (1) 組合せ番号の若いチームが一塁側とする。
 - (2) 競技場内に入る人数は、「開催要項」8.出場資格の(3)による。
 - (3) 選手は試合中、競技に携わるとき以外はベンチを出てはならない。
投手がウォームアップをするためにベンチを出ることは認められる。
5. フィールドイング
ベンチに入るこが許されたユニホーム着用の監督、コーチ、プレイヤーで行う、後攻チームより5分間とする。
なお、大会運営上、時間を短縮することもある。
フィールドイングは、放送または、審判員の指示に従うこと。
6. 競技用具の確認
競技用具(バット、ヘルメット等)で、規格外および、安全性に問題があるものは使用を認めない。
使用できない用具は試合終了まで審判席で保管するので、試合終了後に受け取ること。
7. 試合の開始
 - (1) 「集合準備」の合図で、ベンチ前に一列横隊に並び、「集合」の合図と同時に駆け足でホームプレートを挟んで整列する。
 - (2) 試合開始前に両チームが本塁を挟んで挨拶する際に整列しなかった選手は、当該試合に出場することができない。
打順表に名前が記載されていても、整列しない選手は打順表から抹消する。
 - (3) 小雨の場合でも日程の都合上、競技場が使用可能な状態の場合は試合を行う。
8. 攻守の交代および選手の交代
 - (1) すべて駆け足で、敏速に交代すること。
 - (2) 選手の交代は、監督が球審に速やかにその旨を申し出ること。
9. 攻守交代時のボール
 - (1) 特に指示のない場合は、ピッチャーズプレートの近くに置くこと。
 - (2) 試合終了時は、審判員に渡すこと。(持ち寄りの試合球は、後で返却する)
10. 抗議は、監督のみが行うことが出来る。

◎ 試合の変更

荒天時の連絡

- (1) 試合不可能な場合は、大会本部から各チームに連絡するので、必ず大会会場に集合してください。
- (2) 当日試合を行わない場合や、天候、グラウンドの回復状況により、試合開始時刻を変更する場合がありますので、大会本部からの連絡に注意すること。

【 連絡先 】 大会事務局 向 平 弘 携帯電話 090-1382-4096

◎ その他

- 試合開始前(球場入り後)の練習は、ファウル地域で行うこと。
この場合は、キャッチボールおよび、投球練習のみとする。
- 監督会議で決められた事項は、チーム全員に必ず徹底させること。
- 監督会議に出席しないチームは原則として棄権とみなす。
なお、会議にはユニフォームを着用すること。
- 開会式には、登録された監督、プレーヤー全員が参加すること。
試合が成立する人数(9人)以上の参加が出来ないチームは、原則として棄権とみなす。
- 喫煙は、指定場所以外では禁止です。(グラウンド、ベンチ内、その付近も禁止とする)
- 本大会は、生涯種別であるので、金属スパイクの使用を禁止します。

**第31回全日本壮年ソフトボール大会 兼
第16回スポーツマスターズソフトボール大会北海道予選会 参加申込書**

所属地区協会					
ふりがな				所在地	
チーム名					
代表者名		スコアラー名		連絡責任者	
引率責任者名		スコアラーは公式記録員有資格者であること		連絡先 〒	
監督名	30	トレーナー名		TEL 携帯	
コーチ名	31	通 訳 名			
コーチ名	32				

* 下記の指導者資格のいずれかを有する者1名の氏名と資格名、登録番号を記載すること。

指導者資格:公認ソフトボールコーチ・上級コーチ、公認ソフトボール指導員・上級指導員、公認準指導員

指導者氏名	資格名	登録番号

* UN=ユニホームナンバー 【選手名簿】

No	UN	位置	ふりがな 氏 名	年齢	No	UN	位置	ふりがな 氏 名	年齢
1		投手			14		選手		
2		捕手			15		〃		
3		一塁手			16		〃		
4		二塁手			17		〃		
5		三塁手			18		〃		
6		遊撃手			19		〃		
7		左翼手			20		〃		
8		中堅手			21		〃		
9		右翼手			22		〃		
10		選手			23		〃		
11		〃			24		〃		
12		〃			25		〃		
13		〃							

上記の者は身体、人物ともに適正と認め、参加申込をいたします。

平成 年 月 日

北海道ソフトボール協会 会長 木本由孝 様

所属団体長

印

上記チームは、

地区代表として出場権を得ましたので証明いたします。平成 年 月 日

北海道ソフトボール協会 会長 木本由孝 様

地区協会長

印

第31回全日本壮年ソフトボール大会 兼
第16回スポーツマスターズソフトボール大会北海道予選会 参加申込書

【大会プログラム掲載用】

地区名			
ふりがな			
チーム名			
代表者名			
監督名	30		スコアラー名
コーチ名	31		トレーナー名
コーチ名	32		通訳名

指導者氏名	資格名	登録番号

【選手名簿】

No	UN	位置	ふりがな		No	UN	位置	ふりがな	
			氏	名				氏	名
1		投手			14		選手		
2		捕手			15		〃		
3		一塁手			16		〃		
4		二塁手			17		〃		
5		三塁手			18		〃		
6		遊撃手			19		〃		
7		左翼手			20		〃		
8		中堅手			21		〃		
9		右翼手			22		〃		
10		選手			23		〃		
11		〃			24		〃		
12		〃			25		〃		
13		〃							

チームの横顔

* 下記の指導者資格のいずれかを有する者1名の氏名と資格名、登録番号を記載すること。

指導者資格:公認ソフトボールコーチ・上級コーチ、公認ソフトボール指導員・上級指導員、公認準指導員

*本参加申込書に記載された個人情報は、大会プログラム作成の際に利用することを予めご承知おき下さい。